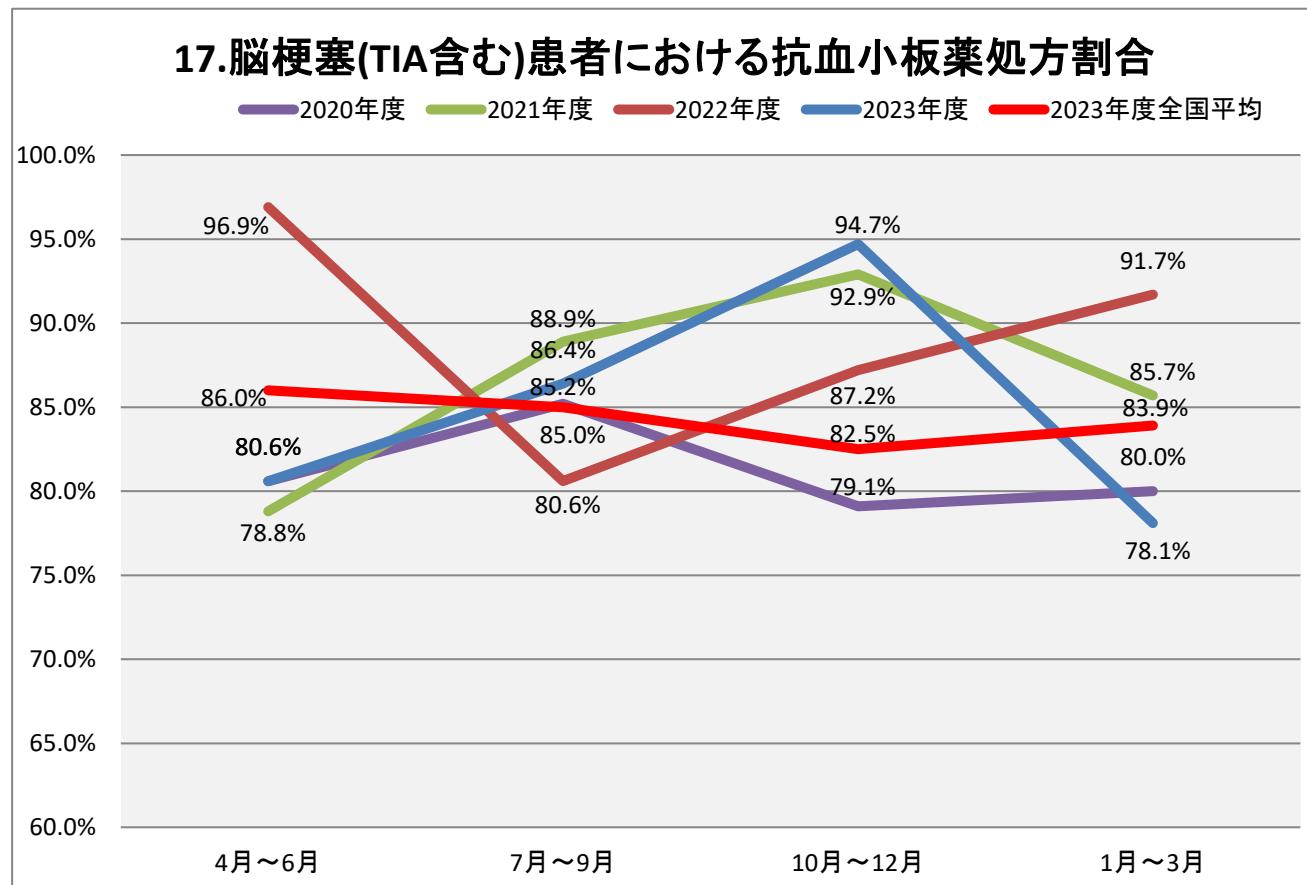


## 17.脳梗塞(TIA含む)患者における抗血小板薬処方割合

### (1)調査結果



| 調査期間       | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|------------|-------|-------|---------|-------|
| 2020年度     | 80.6% | 85.2% | 79.1%   | 80.0% |
| 2021年度     | 78.8% | 88.9% | 92.9%   | 85.7% |
| 2022年度     | 96.9% | 80.6% | 87.2%   | 91.7% |
| 2023年度     | 80.6% | 86.4% | 94.7%   | 78.1% |
| 2023年度全国平均 | 86.0% | 85.0% | 82.5%   | 83.9% |

※2020年度は退院時の投与率

### (2)指標の説明

非心原性脳梗塞(アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞など)や非心原性一過性脳虚血発作(TIA)では、再発予防のために抗血小板薬の投与が推奨されています(脳卒中治療ガイドライン2015)。したがって、適応のある患者さんには抗血小板薬の投与が開始されていることが望まれます。

2020年度までは退院時の投与としていましたが、2021年度から退院時以外を含む処方に変更しています。

### (3)定義

分子:分母のうち、抗血小板薬を処方された患者数

分母:18歳以上の脳梗塞かTIAと診断された入院患者数